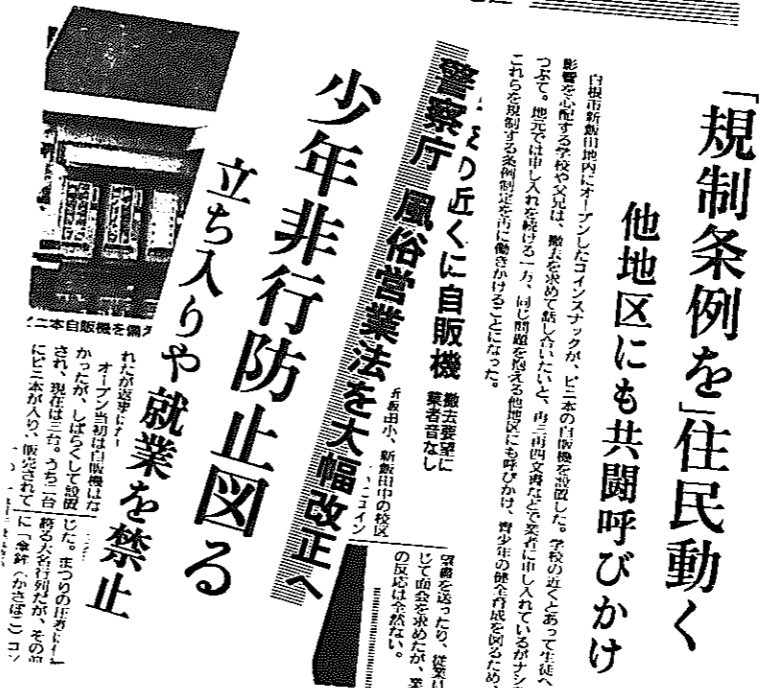


風俗環境と青少年

モテル国道 白根市新飯田地区



「規制条例を」住民動く 他地区にも共闘呼びかけ

「モテル増築反対」「ピニ本自販機の撤去を」と、市内でも青少年を取り巻く社会環境の浄化を求めた「市民運動」が、活発に行われています。

青少年非行の主なものには喫煙、窃盗、深夜はいかいたなどがありますが、性的非行についても県内では増えつつあります。

風俗営業関係やマスコミが青少年に与える影響は、青少年の健全育成の観点から非常に大きいものがあると言われています。一般的には、これらによる有害環境としては必ずしもその関係が明確にされたわけではありませんが、一部の行きすぎた営業行為やテレビ、映画、雑誌などの暴力的、性的な表現も普遍

的で、また、法規制されない俗に言う「セックス産業」までも出現するなど、いやがうえにも青少年たちが性への興味を持つような現代社会になっています。

お金をせばだれでも買えるピニ本自動販売機。隣接市での女子高校生売春事件など主体的選択能力の十分でない青少年が、このような有害な環境や情報に接近する機会が増えてきているわけです。

今回は、心身の成長段階にある青少年に、こうした風俗環境が及ぼす影響について、市民にインタビューして、「意見を伺ってみま

次の質問に答えていただきました。

①新聞では、市内の国道八号線沿線を、「モテル国道、今度ピニ本軽動」と表現してありましたが、こうした環境をどう受け止めますか。

②社会一般に、法規制されない「セックス産業」が野放し状態と言われています。こうした産業は、社会に必要なと思いますか。

③セックス産業などが、青少年に与える影響はどうでしょう。

①ちよつと数が多すぎる ②あまり必要とは思わないが、まあ、し

ようがないんじゃないか ③影響がある。特に、小学校五、六年と中学一年くらいに。興味を持つ年ごろだから。

(男性・五十三歳)

①考えたことはないけど、青少年の手の届く所にはない方がいい ②必要ないと思う ③今の子供たちは、週刊誌や漫画本などからの刺激を受け、もうそれがあたりまえになっている。自分の子供が大きくなった時を思うと心配。

(女性・二十五歳)

①見た感じがハデ。子供をあまり近づけたくない ②そういつたものは娯楽街にあればよい ③セックス情報のはんらんのはずいぶん。雑誌なんかの内容もすごく、子供が難しい時期なんで困っている。

(女性・三十九歳)

①騒ぎすぎ。新聞の表現も大げさ。必要だから、産業が成り立ち、繁栄していると思う ③ある程度の規制は必要だが、セックス産業そのものが、青少年に悪い影響を与えるものではないと思う。

(男性・三十四歳)

①これから増えるということには反対 ②いろいろな事情で必要なのもあるのでは ③テレビや週刊誌などのマスコミが、大きく取り上げていることが、青少年に影響を与えているんじゃないの。

(男性・二十四歳)

①表現はよくないが、確かに目立つと思う ②子供たちの目につきやすいのはいけない ③子供たちが好奇心で見ることが困る。

(女性・二十二歳)

①風紀上よくない ②そんなに必要はない ③非行など、悪い影響を与える。

(男性・六十九歳)

①そんなにすごいとは思わない ②必要と思わないが、なくてはならない人もいますし ③かえってマスコミが悪い影響を与えている。

(女性・二十一歳)

環境 ②必要はない ③影響はあると思う。そういうものを見たり、聞いたりして、青少年の心と体のアンバランスが生じている。

(女性・三十三歳)

①学校の近くにあることはよくない ②都会の産業で、農村まで汚してほしくない ③年ごろになると興味を持つので影響はある。

(男性・五十六歳)

①子供たちの好奇心をおおき、変な知恵を持つ ②殿方は必要としているようだが、私らみたいの子育ての側からするとない方が ③規制しきれないよう。親が子供に自制心を持つよう、育てなければならぬと思う。

①子供の教育上よくないと思う ②どんなものかよくわからないが必要でない ③好奇心をおこさせ悪影響を与える。

(女性・四十歳)

①よくない。他の国道と比べ、あまりにも目立つ。ネオンはどぎつい原色だし、ピニ本の自販は撤去してほしい ②性病、非行、暴力団の資金源など生み出す要素が強い。ある程度の規制が必要と思う ③好奇心をおおたり、性を軽視する風潮を招くことになり、よくない。

(女性・三十六歳)

①各家庭の教育がしっかりできていれば、そんなに子供に影響は与えない ②必要ということではないけど、若者が発散する場がないのでは ③どの程度規制していけばいいのかが問題になってくると思う。親も、もっとこうした事を積極的に子供と話し合うようにすることが大切。

(男性・二十八歳)

性的知識の情報源

大きいマスコミの影響

「日本の白書・情報化社会と青少年から」

『59年日本の白書』の中から、青少年の性的知識の情報源についてみると、マスコミがかなりのウェイトを占めています。

青少年がテレビ、映画、雑誌における性的な場面や記事の量、および内容についてどのように考えているかをみると、量については「多い」と考える者が大人と比べて少なく、内容についても「露骨」と考える者が大人と比べて少なく、性的な描写などに対し、許容性が大人と比べて高いことが目につきます。

いずれにせよ、青少年が情報化社会に適切に対応し、しっかりした個性を確立しようとするための条件整備を、マスコミや地域社会がそれぞれの立場と責任を持って、実行していくことが望まれます。



人目を気にせず、だれにでも雑誌が買える自動販売機。青少年健全育成委員も巡回し、悪書の追放を業者に呼びかけているのですが……

いろいろな人から意見を聞いてここに掲載しました。こうした事柄について、あなた自身はどのようにお考えになりますか。

なお、来月号の「育てる目・育つ芽」では、大人や大人社会を、子供たちがどのように思っているかを紹介していく予定です。

